

知的障害特別支援学校における 連携・協働を軸としたキャリア教育



R4.10.9

山口県障害者職業

リハビリテーション研究会



山口県立宇部総合支援学校

教諭 島田 雅子



本日の流れ

- ① はじめに・・・
- ② 卒業生の「悩み」から考えるコミュニケーション支援と生徒の変容
- ③ 地域連携協働活動「うべそうマルシェ」の開催と生徒の変容
- ④ 今年度の取組について

① はじめに . . .



山口県立宇部総合支援学校は

- 児童生徒数 335 名
(小学部 116 名、中学部 86 名、高等部 133名)
- 教員数 187 名 (本校)
- コミュニティスクールとなったのは平成28年
(今年で6年目)
- 今年度より産業科から
就業実践科に改編



特別支援学校

「自立」「社会参加」「共生社会の実現」をめざす

山口県特別支援教育推進計画（2018年度～2022年度）

重点項目 「キャリア教育・職業教育の推進」

特別支援学校高等部学習指導要領

キャリア教育は

「地域及び産業界や労働等の業務を行う関係機関
との連携を図り」

「関係機関の人々の協力を積極的に得るよう配慮する」

目的

研究目的

校内及び地域との連携・協働を軸としたキャリア教育の実践を通して、生徒の変容を明らかにし、連携・協働の在り方を検証する。

仮説

連携協働

校内での指導
教員をつなぐ

一貫した教育

地域との実践
地域とつながる

障害理解・障害者理解

② 卒業生の「悩み」から考える
コミュニケーション支援
と生徒の変容



情報収集・現状分析

(2020年4月～8月)

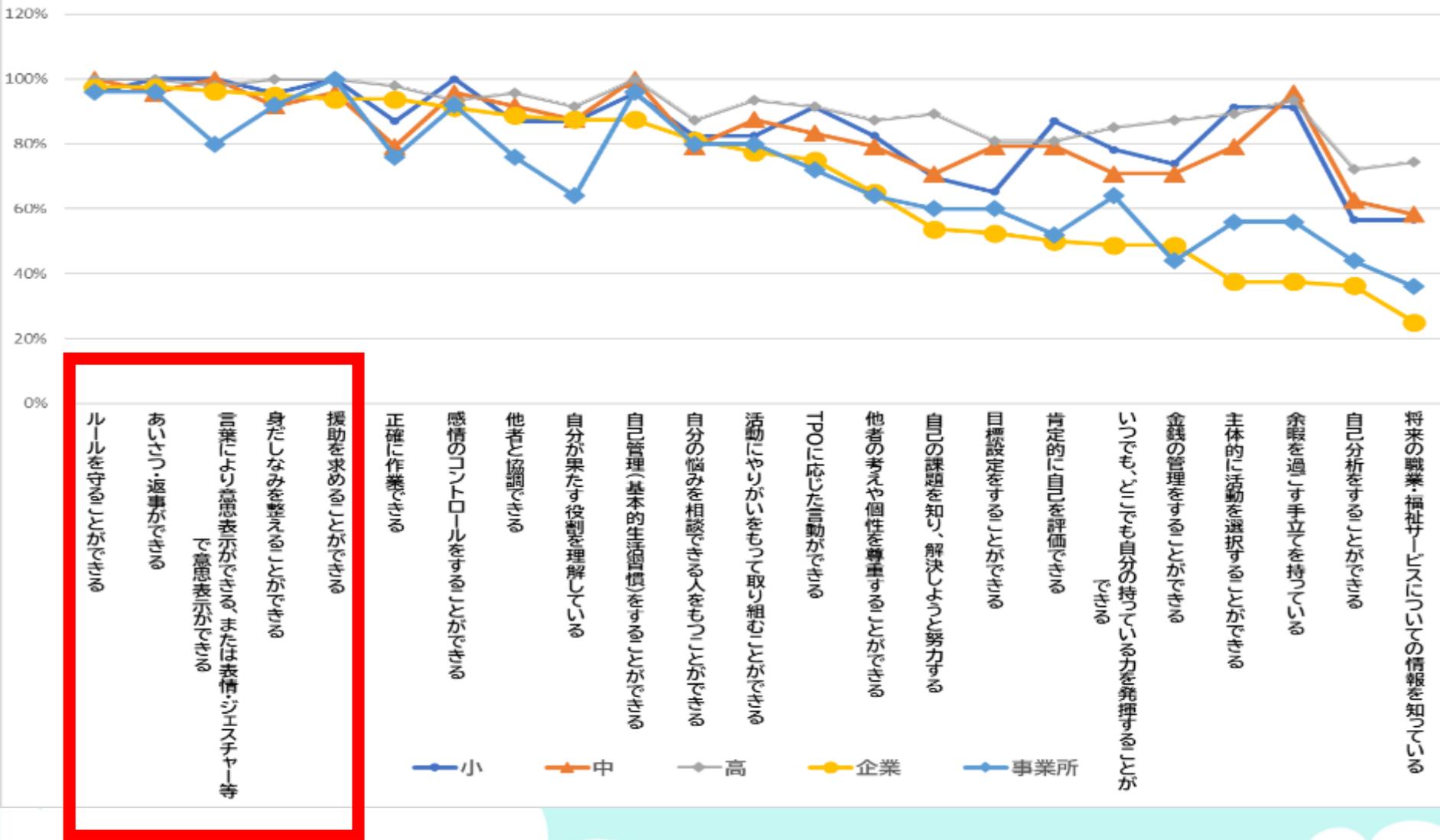
- 本校卒業生の離職状況・産業別就職者数
- 地域企業・就労継続支援事業所、本校教員へのキャリア教育に関するアンケート調査
- 2019年度卒業生への聞き取り調査

地域企業・就労継続支援事業所、本校教員へのキャリア教育に関する アンケート調査

回答数

企業	80
就労継続支援事業所	25
施設	17
計	122

教員	
小学部	23
中学部	24
高等部	47
計	94



企業、就労継続支援事業所及び本校教員のキャリア教育に対する重要度認識の比較

2019年度卒業生
(企業12名・就労継続支援A型事業所2名)

聞き取り調査(複数回答可)



質問1

働き始めてから、これまでに不安を感じたことのあるものは何ですか

- | | |
|-----------------------------------|----|
| 職場の人たちとの人間関係 | 9名 |
| ・ 社会の厳しさ | 6名 |
| ・ これからも続けていくことができるか（将来への不安） . . . | 5名 |
| ・ 困ったことを誰に言えばよいのかわからない | 4名 |
| ・ 仕事の内容に関する不安 | 3名 |
| ・ お金の問題 | 2名 |
| ・ 余暇をどのように過ごしたらよいかわからない | 1名 |

質問3

学校生活の中で学ぶことができたらよかったと思うもの

- ・ 人とのコミュニケーションの取り方 8名
(日ごろ接しない人との接し方が知りたかった。増やしてほしい。)
- ・ お金の管理の仕方 3名
(将来を見据えて月にどれぐらい使ってもいいのか教えてほしかった。お金の使い方)
- ・ 作業的なこと 2名
(メモの取り方。話のどこを取ればよいのか教えてほしかった。シーツ交換の実践を増やしてほしい)
- ・ 余暇の過ごし方 1名
- ・ その他 . . . なし

調査研究により明らかとなった点

企業・事業所 : コミュニケーション(あいさつ・報告連絡相談)
を身につけることを期待
⇒追指導より、よくできていると評価していただいている

卒業生の困り感 : 周囲との円滑な人間関係を築くための総合的
なコミュニケーション

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター(2017)
『障害者の就業状況等に関する調査研究』

知的障害者の離職(3か月以降1年未満)理由の1位

「人間関係の悪化」

現状分析

情報収集 現状分析

(2020年4月～8月)

- 本校卒業生の離職状況・産業別就職者数
- 地域企業・就労継続支援事業所、本校教員へのキャリア教育に関するアンケート調査
- 令和元年度卒業生への聞き取り調査



「人間関係形成能力」の育成が必要

宇部総合支援学校全教員に状況報告

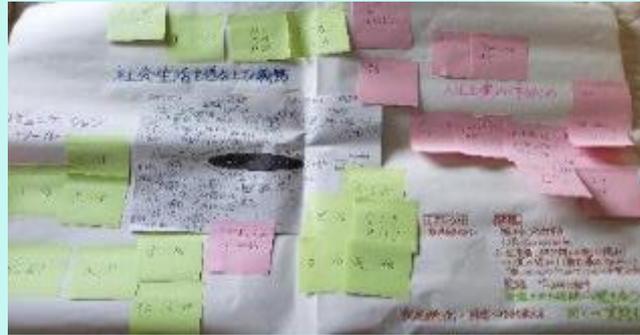
高等部にプロジェクトチーム(13名)設置

方法 (校内での指導)

指導対象生徒：高等部34名（普通科：3クラス、産業科：3クラス）
プロジェクトチーム（高等部教員）：13名



2020年9月
プロジェクトチームによる熟議



プロジェクトチームの熟議により作成したウェビングマップ・KJ法



2020年10月 高等部生徒との情報共有 及び 指導前のコミュニケーションについての熟議

指導目標

事前に収集したニュース等を会話のきっかけとし、人と話すことで「話す力」「聞く姿勢」を身につける

方 法 (校内での指導)

指導時間：普通科（日常生活の指導）

産業科（帰りの会）



(2020年) 月	内 容
9月	●プロジェクトチーム設置 ●第1回・第2回話し合い
10月	●生徒への情報共有・指導目標の共有 ●第3回話し合い ●指導開始
11月	●第4回話し合い ●6クラス全体へのフィードバック
12月	●生徒個人記録からの個人へのフィードバック①
1月	●産業科合同コミュニケーション指導の実施（普通科：各クラス）
2月	●第5回話し合い
3月	●生徒個人記録からの個人へのフィードバック②

生徒へのフィードバック



「コミュニケーション」の学びを始めてからの みんなの様子（先生たちからのメッセージ①）

登壇時に「先生、朝のニュースをやってもいいですか」と言って、友達とニュースを話題にして、一緒に話をしていました。今までこのようなことはなかったですが、コミュニケーションをとるといふことを自然とやっています。



聞くスキルが上がってきています。話す友達の方に体をきちんと向けて聴くようになっています。拍手をして、話しやすい空間ができています。

難しいニュースを選んでくるのがあったので、どのようにして、このニュースを選んできたのかときどき、親と話をしてもってきたと話していました。家族との会話も広がっている様子がとても良いと思いました。



メモは全員の話を聴いて書くようにしていますが、初めは、覚えることができなくて書くことが難しかったですが、最近では、覚えられるようになってきていて、書けるようになってきました。

みんなのコミュニケーションスキルが
上がってきているようです!!!
すごい!!!

最近では、話題が広がって、コロナの話からSNSの話に発展していました。話題も2、3個持ってきていて、みんなが知っているような話題を選んで、「自分はどう思う」ということも言えるようになってきています。

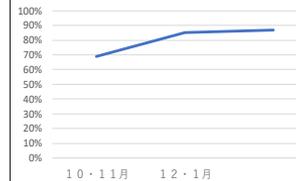
最近では、「クッション言葉」と「質問」に力を入れています。ニュースの話題が難しかったら、その話題がその人とはどんな関係があるのかなどを質問するようにして、話を広げるようにしています。とても質問することが上手になってきています。



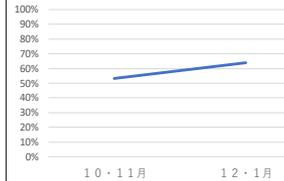
コミュニケーション 記録表より

産業科	10-11月	12-1月	2-3月		
①ニュースを見てきましたか	69%	85%	87%		
②話しやすかったですか	53%	64%			
③うなずきながら、最後まで話を聞くことができましたか	30%	92%	100%		
④質問することができましたか	15%	64%	100%		

①ニュースを見てきましたか



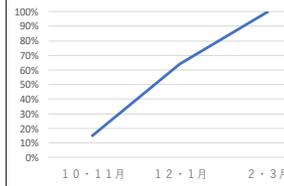
②話しやすかったですか



③うなずきながら、最後まで話を聞くことができましたか



④質問することができましたか



さん

●さんは、人と話をしたり聞いたりすることがあまり好きではないと答えていますが、しっかりとこのデータが伸びているということは、非常に努力されてコミュニケーション力をつけられているということが分かります。がんばっていますね。職場できっとさんのコミュニケーション力が役に立つと思いますので、自信をもって取り組んでくださいね!!

生徒個人へのフィードバック

クラス全体へのフィードバック

結 果 (校内での指導)

教員による評価

生徒による評価

項 目	教員による評価			生徒による評価		
	指導前	指導後	t値	指導前	指導後	t値
相手の話を最後まで聞くことができる	3.38 (0.69)	3.41 (0.77)	NS(.10<p)	3.29(0.75)	3.35(0.68)	NS(.10<p)
相手の話に対してうなずきながら聞くことができる	3.38 (0.73)	3.12 (0.72)	1.9149, + (.05<p<.10)	3.32(0.76)	3.21(0.72)	NS(.10<p)
朝、天気予報を見ている				2.76(1.16)	2.85(1.09)	NS(.10<p)
朝、ニュースを見ている				2.94(0.97)	3.18(0.86)	NS(.10<p)
天気予報やニュースなどの情報を使って話をすることがある	2.29 (0.82)	2.68 (0.93)	2.835** (p<.01)	2.32(0.96)	2.82(0.92)	2.8438** (p<.01)
自分の特技や趣味を話題にすることがある	3.06 (0.8)	3.09 (0.98)	NS(.10<p)	3.09(0.85)	3.26(1.04)	NS(.10<p)

教員から報告された生徒のエピソード

- 「昼休みに生徒自らが他の生徒とニュースを話題にして話していると別の生徒も交じって、一緒に話をしていた。今までこのようなことはなかったが、話題があるため、コミュニケーションをとるという行為を自然に行っていて驚いた。」
- 「2月実習の反省会の時に、『コミュニケーションをいろいろな人と取ることができた』と言っていた。」

プロジェクトチーム実践後アンケートより

- 「生徒への実践前にチームで『コミュニケーション』について意見交換ができたため、その後の生徒のコミュニケーションに対する捉え方と比較することができて、参考になった。」【若手】
- 「他クラスでの取り組みと自クラスの取り組みを比較しながらブラッシュアップしていけるのがよかった。指導法で悩んでいたところに、他クラスで試みている提示の仕方が参考になった。教員の経験年数よりも教科性や教員の個性がアプローチの仕方に違いを生むと思うので、多くの先生方と意見交換ができたことがよかった。」【ミドル】

- ◆ニュースという具体的な会話のきっかけを提示。日常の生活で使いやすかったのでは
- ◆調査結果をもとに、指導の目標をより明確にし、教員・生徒で共有したこと
- ◆チームとして連携・協働したことで、継続的な指導に

➡ 生徒の変容に

コミュニケーションの指導を受けた卒業生の様子 (企業就労卒業生)

- 離職した卒業生はいない(2022年1月現在)
- 卒業生のエピソードより
「同期だけではなく、いろいろな年代の人と話をしている。困ったときは、相談している」

コミュニケーションのプロジェクトチーム教員 2021年度

産業科及び普通科 I 類の担任を継続している教員 ⇒ 3名
この3名の教員については指導を継続

【継続している理由】

- 「卒業後の進路に向けた実践であるという目的がはっきりしているため取り組みやすい。また、昨年度の実践で生徒の変容が見られたので続ける意義を感じる」
- 「昨年度実践を行って『聞く力』が大事だと感じたため、今年も身につけさせたいと感じたから」
- 「昨年度までに身につけた力を持続させるため」

【困った点】

- 「昨年度はチームで行っていたため、相談できる場所があったから良かった。今年度は、一人で指導していると本当にこれでよいのかなと自信がないこともあり、指導を続けることが難しいと感じることもあった」【若手】

指導実践を行っていない教員

⇒ 他の教員は他校へ異動・
副担任になったり生徒の実態が合わないクラスへ

【理由】

指導については担任裁量であるため、副担任になった今は実践しづらい

指導実践の話し合い
教員間のコミュニケーション

チーム等を組織
(連携・協働)

指導目的の共有

日々の継続した指導

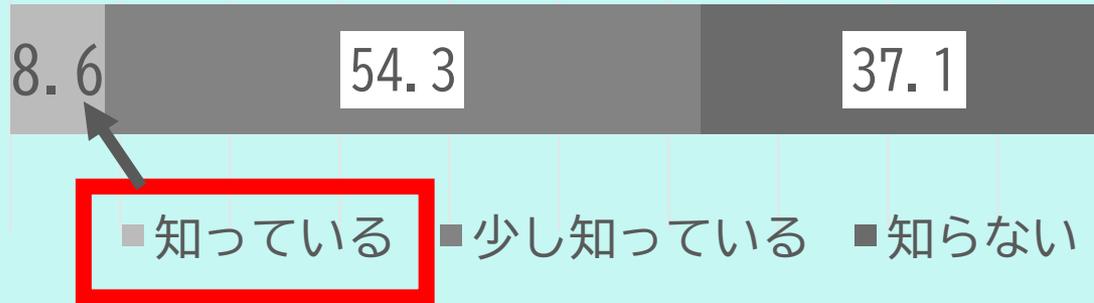
生徒の望ましい変容に

教員のモチベーションの維持・指導の継続

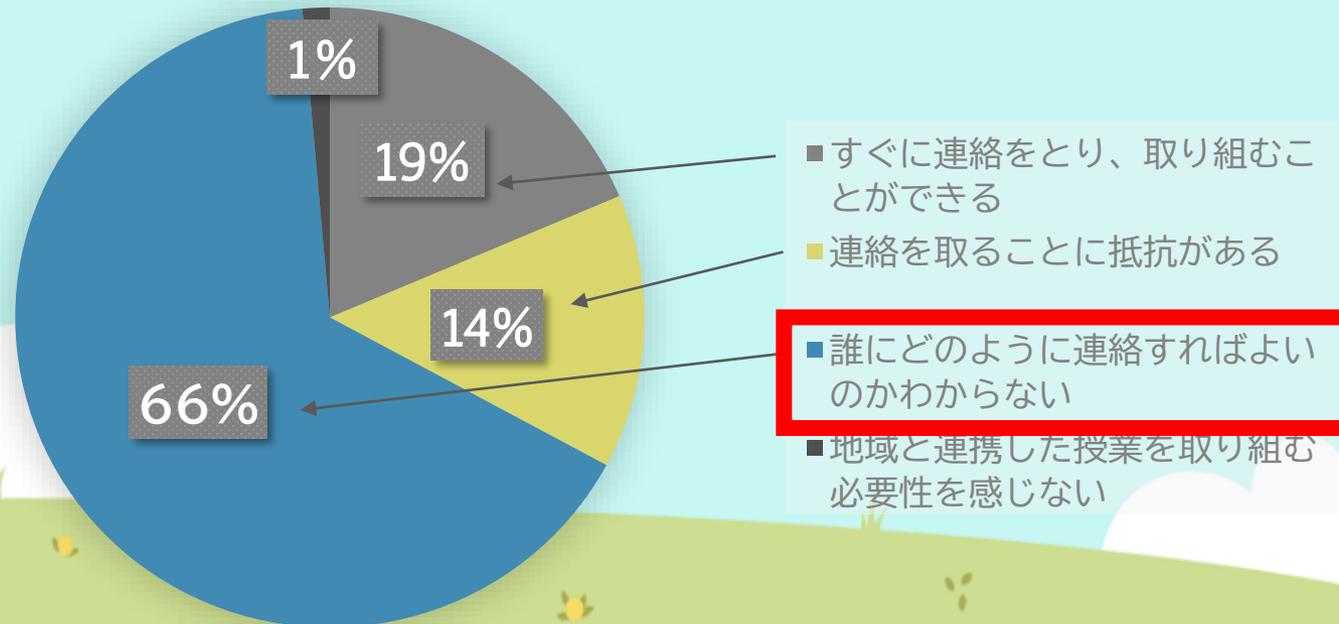
③ 地域と連携協働した
「うべそうマルシェ」
の開催と生徒の変容

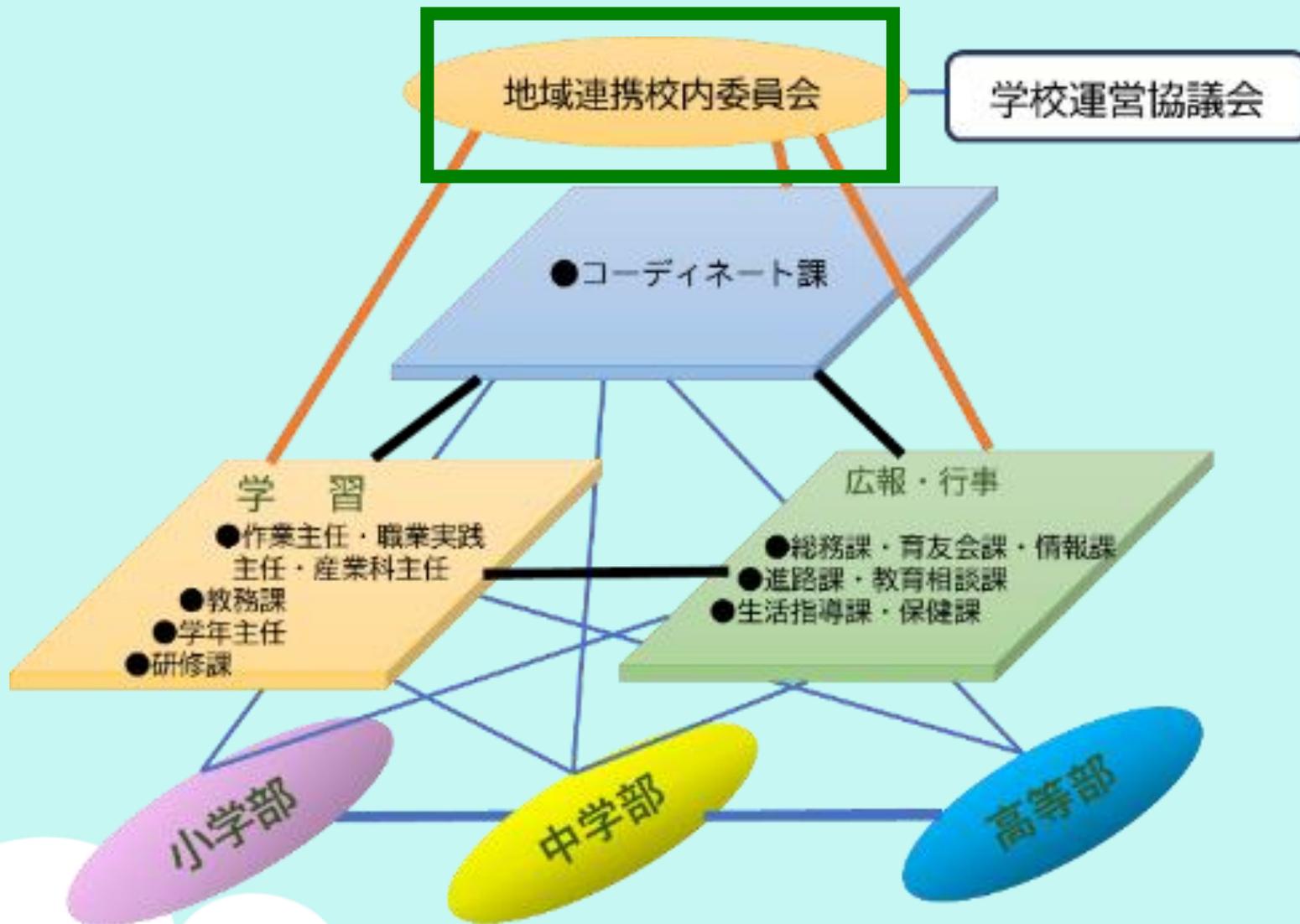


他学部がどのような地域連携の取組を行っているか知っていますか



地域と連携した授業等を先生は取り組みやすいと感じますか





◆地域連携校内委員会設置
 学部間をつなぐ
 これまでの取組を体系的な取組へ

地域連携校内委員会メンバーによる各学部での話し合い

- 地域連携教育で育てたい児童生徒の力について
- 地域連携教育が地域に与える影響について
- 今後行っていききたい地域連携教育について



小学部



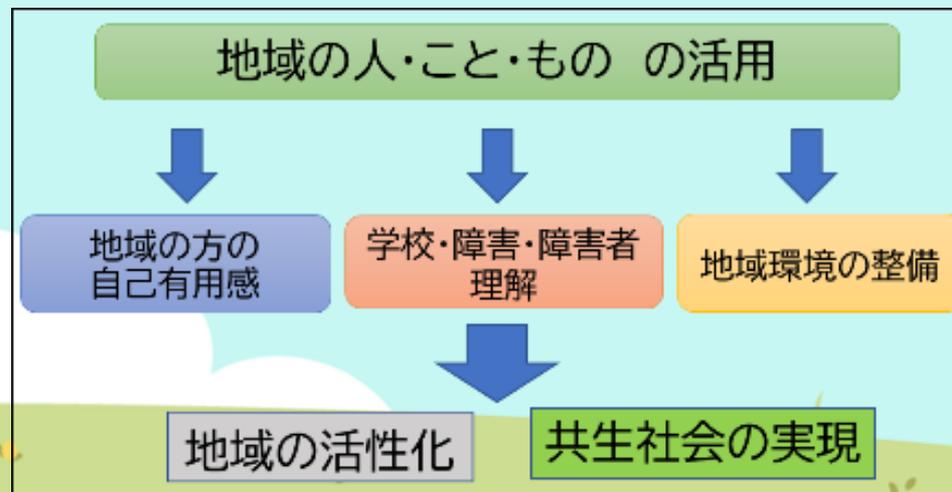
中学部



高等部

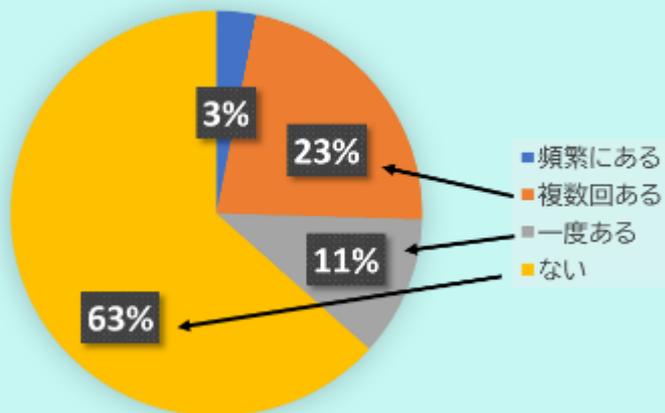


高等部話し合いによる地域連携教育で生徒に身につけたい力

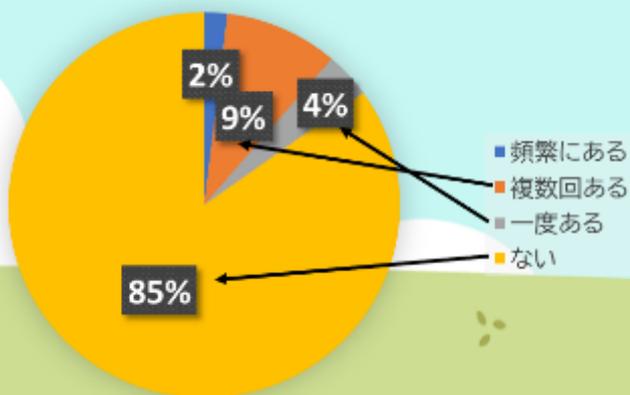


地域連携教育が地域に与える影響

宇部総合支援学校に来校されたことはありますか。
(161件の回答)



宇部総合支援学校の教育活動に参加されたことはありますか。(159件の回答)



「行事等に参加できること自体を知らなかった。もっと周知活動をしてほしい」

自由記述27件中14件の回答が発信にまつわる記述



発信に課題あり

◆高等部に地域連携プロジェクトチーム
(9名) 設置

具体的な実践につなぐ

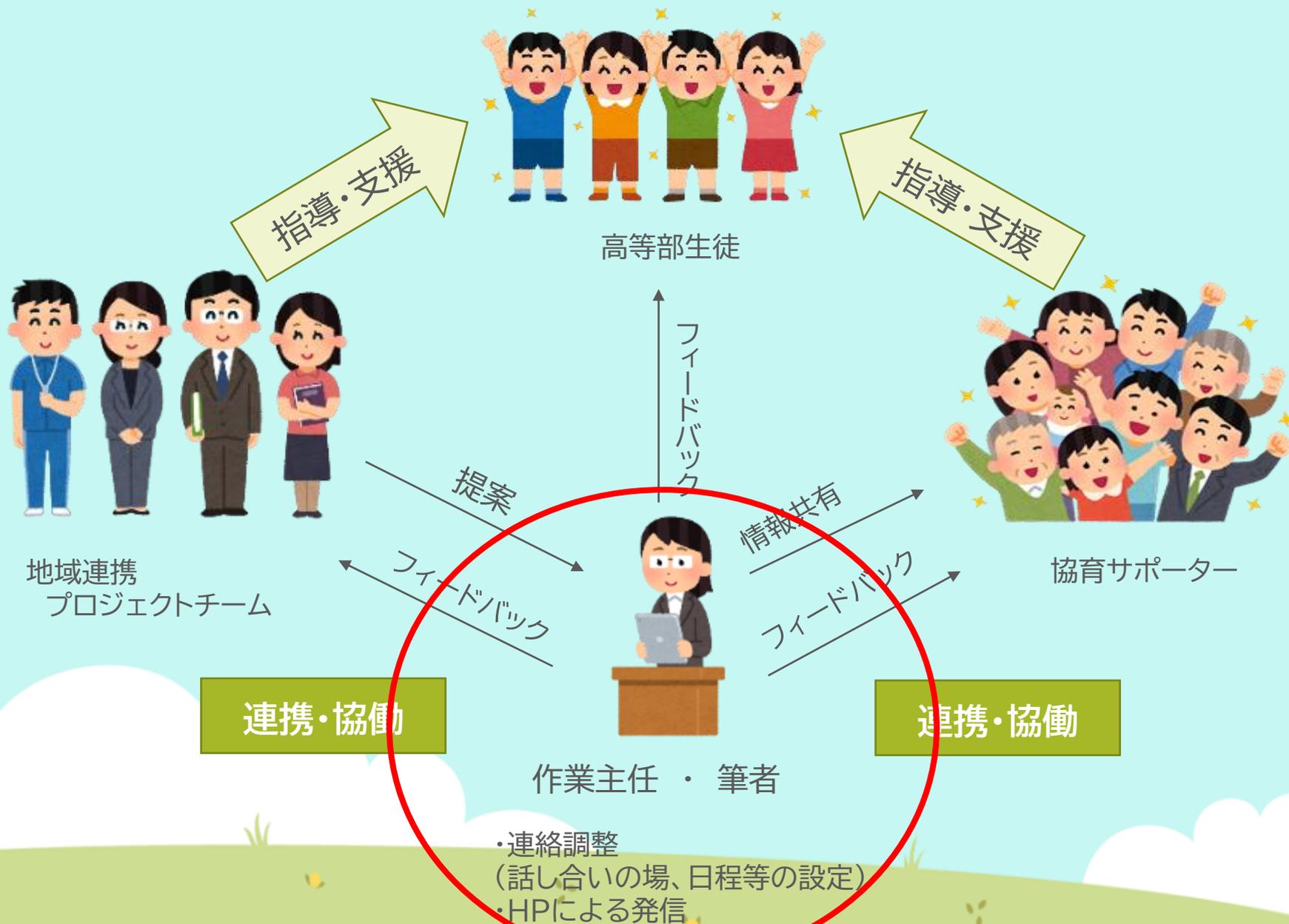


「うべそうマルシェ」

「有機ネット山口西部」(協育サポーター)15名とともに宇部総合支援学校にて野菜の販売を行う。

※ 参加： 保護者、全学部児童生徒

方法 (地域との実践)



方法 (地域との実践)

日程	内容
2021年 5月	・地域連携プロジェクトチーム設置 話し合い 「うべそうマルシェ」の実施決定 ・協育サポーターと担当者の打ち合わせ(学校見学日の決定)
6月	・協育サポーター(代表者)の学校見学及び話し合い(うべそうマルシェの目的、 育てたい生徒の力、日程等についての共有)
7月	・協育サポーターの会合に出席(作業主任、担当教員)し、目的等の共有 ・第1回うべそうマルシェ(産業科は準備・片付けのため協育サポーターとの事 前事後指導なし) ・プロジェクトチームによる話し合い
9月	・うべそうマルシェ(新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)
10月	・第2回うべそうマルシェ
11月	・協育サポーター(代表者)とプロジェクトチームによる熟議



2021年
5月
協育サポーター
との打ち合わせ



2021年
11月
協育サポーター
との熟議

方法 (地域との実践)

地域:有機ネット山口西部

◆うべそうマルシェ

- ・対象生徒:高等部 21名(普通科 10名、産業科 11名)
- ・普通科(作業学習) 産業科(職業実践)
- ・事前事後指導も協育サポーターとともに行うことで、育てたい力の育成を図る。



指導前・指導後の協育サポーターとの話し合いの様子



「うべそうマルシェ」の様子

結 果 (地域との実践)

地域連携教育「うべそうマルシェ」評価アンケート結果

教員による評価

生徒による評価

	教員による評価			生徒による評価		
	指導前	指導後	t 値	指導前	指導後	t 値
1 あなたは地域の方にあいさつをしますか	3.19 (0.59)	3.67 (0.47)	4.2933 , ** (p<.01)	3.05 (0.79)	3.76 (0.53)	3.4142 , ** (p<.01)
2 地域の方と話をしますか	2.43 (0.66)	3.48 (0.5)	5.5902 , ** (p<.01)	2.05 (0.95)	3.67 (0.47)	8.0498 , ** (p<.01)
3 地域の方の話をどのように聞いていますか	2.81 (0.73)	3.57 (0.49)	4.1961 , ** (p<.01)	2.86 (1.04)	3.86 (0.35)	4.8087 , ** (p<.01)
4 地域の方と適切な言葉遣いで話しますか	3.38 (0.84)	3.81 (0.39)	2.4342 , * (p<.05)	3.05 (1.17)	3.81 (0.39)	3.2064 , ** (p<.01)
5 地域の方の名前を知っていますか	1.38 (0.72)	3.52 (0.66)	10.1812 , ** (p<.01)	1.9 (0.92)	3.62 (0.65)	7.0809 , ** (p<.01)
6 地域の方と協力して作業に取り組みましたか	1.48 (0.85)	3.67 (0.71)	7.5338 , ** (p<.01)	2.29 (1.16)	3.33 (1.04)	3.0691 , ** (p<.01)
7 地域貢献や地域授業は「やりがい」や「達成感」がありましたか	2.52 (0.66)	3.71 (0.45)	6.7365 , ** (p<.01)	2.33 (1.17)	3.71 (0.45)	5.8777 , ** (p<.01)
8 地域貢献や地域連携授業は楽しいですか	2.48 (0.79)	3.67 (0.56)	5.8482 , ** (p<.01)	2.19 (1.14)	3.76 (0.43)	6.159 , ** (p<.01)
9 地域活動の取組の中で自分に任された仕事は何かわかっていましたか	2.57 (0.9)	3.81 (0.39)	8.1551 , ** (p<.01)	2.43 (1.09)	3.9 (0.29)	6.0171 , ** (p<.01)
10 地域活動の中で自分に任された仕事をしましたか	3.33 (0.84)	3.81 (0.39)	2.9406 , ** (p<.01)	2.43 (1.26)	3.95 (0.21)	5.111 , ** (p<.01)
11 自分の活動が地域のためや人の役に立ったと感じますか				2.33 (1.28)	3.19 (0.91)	3.2872 , ** (p<.01)

結 果（地域との実践）

実践後の生徒のアンケートより

- 「うべそうマルシェでジャムを作られている方から『おかげでジャムが完売しました』とお礼を言われたときにやりがいを感じました。商品の並べ方を教えてください、その教えていただいたことを活かして商品を並べていると、**褒められたので自分に自信がつき、楽しかった**です」
- 「販売前や販売後に**皆さんと話をした時が楽しかった**です」

教員による実践後の生徒の変容エピソード

- 「**日常では集中力が欠ける場合が多いが、実践時は集中力も続いており、**がんばって取り組んでいた」
- 「いつもよりもコミュニケーションをよくとっている」
- 「取り組むまでに時間がかかることがあるが、うべそうマルシェでは、**いつもより積極的に取り組んでいた**」

協育サポーターのアンケートより

この実践より喜びを感じていただけましたか・・・全員が「はい」と回答

- 「**一緒に活動するということが障害理解につながり、今後の展望となるのでは。来年度も続けてほしい。**このようなイベントを行っていくことで、私たちを含め、みんなが障害の理解を深めていく大切さを感じた」
- 「マルシェでのお客様へ生徒が対応しているのを見てみると、どんな障害があるのかほとんど理解することができませんでした。理解されていないということは、この子たちが生きづらい中、生活を送っている場面が多々あるのだと思います。**このようなイベントを行っていくことでみんなが理解を深めていく大切さを感じました**」

結 果（話し合いの効果）

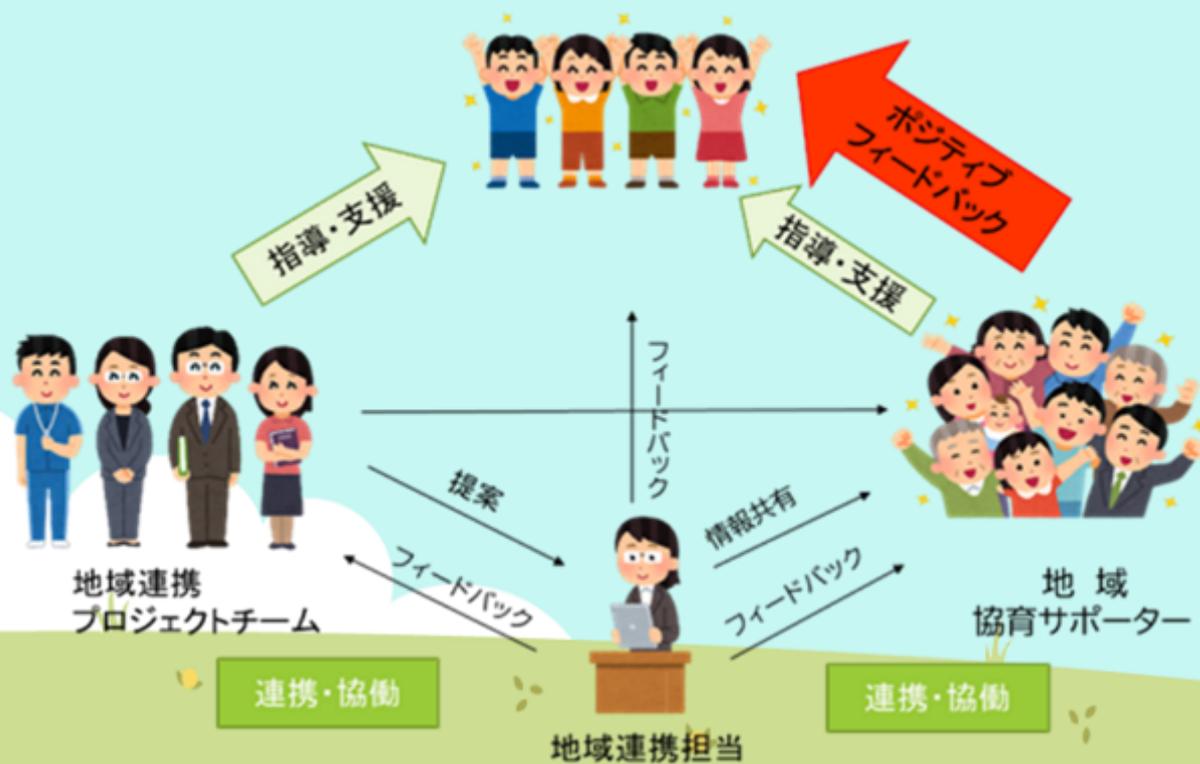
産業科生徒による協育サポーターとの話し合いがあった場合となかった場合の比較

	協育サポーターによる話し合い なし			協育サポーターによる話し合い あり				
	指導前	指導後	t値	指導後	t値			
あなたは地域の方にあいさつをしますか	2.64	0.77	3.18	0.83	1.414, ns (.10<p)	3.91	0.29	6.4776, ** (p<.01)
地域の方と話をしますか	1.91	1	2.18	1.03	0.5336, ns (.10<p)	3.73	0.45	6.9342, ** (p<.01)
地域の方の話をどのように聞いていますか	2.64	1.07	2.64	1.15	0, ns (.10<p)	3.91	0.29	4.1834, ** (p<.01)
地域の方と適切な言葉遣いで話しますか	2.73	1.21	3.27	1.14	1.3379, ns (.10<p)	3.73	0.45	2.7985, * (p<.05)
地域貢献や地域授業は「やりがい」や「達成感」がありましたか	2.27	0.86	2.82	1.11	1.1595, ns (.10<p)	3.64	0.48	5.5853, ** (p<.01)
地域貢献や地域連携授業は楽しいですか	2.18	1.03	3.18	1.03	2.6135, * (p<.05)	3.64	0.48	4.2457, ** (p<.01)
自分の活動が地域のためや人の役に立ったと感じますか	2.09	1.16	2.55	1.08	0.9487, ns (.10<p)	3	0.95	2.1967, + (.05<p<.10)

◆地域住民と生徒の対話を含めた協働した実践

◆地域住民からの肯定的なフィードバック

➡ 生徒の変容に



実践後のプロジェクトチームからの意見

- 「これまで地域貢献で草刈りやトイレ清掃を行ってきたが、見てくれる地域の方はいたが、見ていないのに悪い評価をされることもあった。うべそうマルシェ行って、地域貢献も大事であるが地域の方と一緒に活動をして生徒をほめてもらったり、コミュニケーションが取れるようになってきたりすることの重要性を感じた」(若手)
- 「今回の活動を通して事前と事後に地域の方と対話することの重要性を認識した。より地域連携教育が生きてくると感じた。教師としてより効果的な指導の仕方を勉強することができた。学校に地域の方が来てくれる機会を設ければ、地域の方との対話を行った実践ができると感じた。学校に来てもらうことのメリットだと感じる。ただ販売を行っただけの取組とは大きく違って教育的効果が高いと感じた」(ベテラン)
- 「うべそうマルシェなどの地域連携教育を持続可能な取組としていくためには、キーパーソンを作っていくという、人材育成が必要であると思う。最初は何人か一緒に取り組んで、繰り返すことでそのノウハウをおぼえて、人が増えて取り組みやすくなるのではないか」(ベテラン)

今後の課題

◆成果のあった教育活動を持続可能な取組へ

- 連携・協働をベースとした実践のノウハウを教員間で情報共有
- 児童生徒の望ましい変容に接することで、教員のモチベーションの維持
- 地域住民を巻き込んだ実践(地域のニーズ)



- ☆ キャリア教育の充実に
- ☆ 共生社会の実現へ

今後のキャリア教育推進のために・・・

校内での
指導

スキルの
積み上げ



両輪で進めていく

地域での
実践

スキルの
般化

往 還

往 還

④2022年度の取組について

テーマ

コミュニケーションの育成
持続可能な取組



子どもたちのコミュニケーション力

ニュースも大事であるが他できることは・・・



地域と連携した取組を持続可能なものにするために・・・

- 連携・協働をベースとした実践のノウハウを教員間で情報共有
- 児童生徒の望ましい変容に接することで、教員のモチベーションの維持
- 地域住民を巻き込んだ実践(地域のニーズ)

本当にこれで持続していくことはできるのだろうか・・・

●生徒主体で授業を展開することによりコミュニケーション力は上がるのでは

●産業科・就業実践科の生徒が主体となって授業を展開することで取組や学びが持続されていくのでは

実践

産業科・就業実践科 流通・サービス(水:1~4限)

生徒 1学年~3学年 計22名

概要

- 4月 接客練習
- 5・6月 カフェの実践
- 6月 老人クラブさんご招待
- 7月 うべそうマルシェ

授業日数 14日 (計56時間)

生徒への意識づけ



4月段階で授業を引っ張っていくのは3年生だということを何度も伝えた。1・2年生は来年度、再来年度3年生と同じように入ってくる1年生を引っ張っていくんだという意識づけを行った。授業を生徒主体で行っていくようにした。

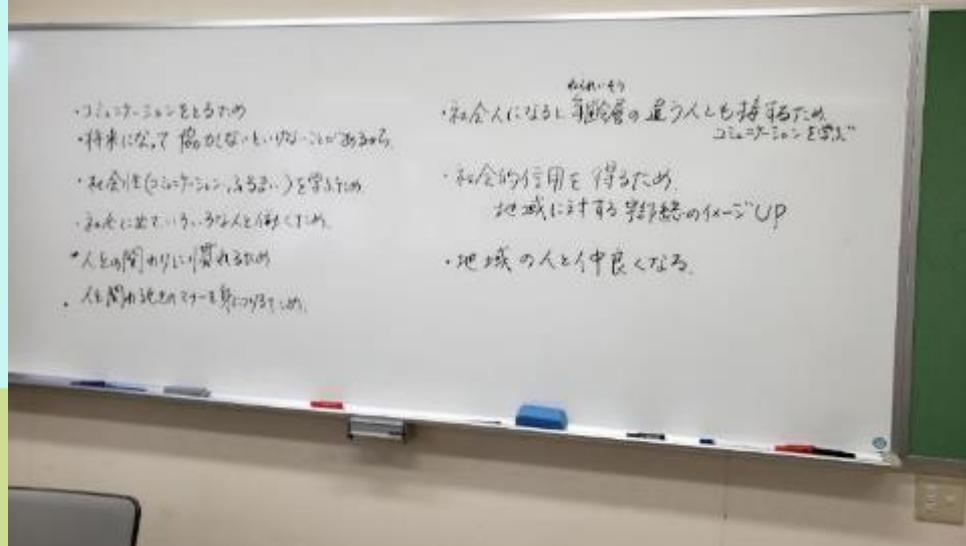


(キャリア教育はそれぞれの) 能力や態度の育成を通して、キャリア発達を促す。児童生徒本人が、授業をはじめ、学习上・生活上経験したことを経験したことについて「振り返り」を通して自分なりに意味づけ、価値づけ、方向づけていく、そして支援によってその変化・発達を促すもの。教師が児童生徒に教え込むような性質のものではない。

生徒への意識づけ



なぜ地域の方と連携した授業を行うのでしょうか



生徒意見

- コミュニケーションをとるため
- 社会性(コミュニケーションやふるまい)を学ぶため
- 社会に出るといろいろな人と働くため
- 人とのかかわりに慣れるため
- 地域の人と仲良くなるため
- 人と関わる時のマナーを身につけるため
- 社会人になるといろいろな年齢層の方と接するため、コミュニケーション力を学ぶ
- 社会的信用を得るため。地域に対する宇部総合支援学校のイメージUP

人とのかかわりを多くし、コミュニケーション力を上げたい！！
地域の方に宇部総合支援学校を知ってもらいたい！！

エプロンのつけ方



バックヤードの練習 コーヒーマーカーの 使い方



在庫チェック

感想(できたこと、できなかったこと、失敗したこと、気づき、評価が×の理由など)

1年生に喫茶検定の通しを教える時、一つ一つのセリフに時間をかけすぎてしまい、全て教えることができなかったで
す。申し訳なかつたです。次に教える機会があれば、各項目ご
とで通すようにすれば、もっと分かりやすく教えることができたいと思
います。

担当教員から

お願いします。1年生が、ちょっと結びが苦手なのでそれを
得意にできるように工夫して伝えようと思いました。

担当教員から

感想(できたこと、できなかったこと、失敗したこと、気づき、評価が×の理由など)

今日は1年生に紅茶のことを説明する時、少しでも
分かりやすいように、インターのメモリーやタイマーなどと相手に
近づいたと工夫してできたと思いました。又1番最初に1年生集める
時、早く行動力ができなかったのを、次は早く呼びかけするようにした
と思います。

担当教員から

3年生の記述より

- 1年生に伝える時、一つ一つのセリフに時間をかけすぎてしまい、すべて伝えることができなかったでので申し訳なかつたです。次は、各項目ごとで通すようにすれば、もっと分かりやすく伝えることができると思ったので気を付けたいです。
- 1年生の苦手なところを得意にできるように工夫して伝えようと思いました。
- 1年生に説明するとき、少しでもわかりやすいように工夫してできたと思いました。

5・6月 カフェの実践

接客の練習を活かした
校内でのカフェの実践



カフェの実践後の
話し合い



どういふところが
良かった？
次の課題は？



1年生の意見

感想(できたこと、できなかったこと、失敗したこと、気づき、評価が×の理由など)

初めての喫茶の一曲りの練習をして、おもてなしがよかったです。これから心がけたいと思います。3年生になってもそれを活用できるように覚えていきたいです。次回も先輩の言われた通りに丁寧に出る限りしたいです。頑張ります。

喫茶の練習をして、おもてなしをするように心がけないと思います。3年生になってもそれを活用できるように覚えていきたいです。次回も先輩の言われた通りに丁寧にできる限りしたいです。

初めて喫茶の発表をして、とても緊張して不安だったけど、出せる力を出して、〇〇先輩や〇〇先輩にも褒められたので自信をつけてできるようにしたいです。

感想(できたこと、できなかったこと、失敗したこと、気づき、評価が×の理由など)

今日初めて喫茶の発表をしてとても緊張して不安だったけど、今自分の出る全力を出して声動きに気をつけて先輩や先輩にも褒められたので少しずつ自信をつけてきちんときれいにできるようにしたいです。

感想(できたこと、できなかったこと、失敗したこと、気づき、評価が×の理由など)

今日は初めて本番のカフェをしました。先輩から教えてもらったことを思い出しながら作業をしました。ポットも入れ替えたり、パックを洗ったり2階まで届けたりと、上手にできてよかったです。次回コミュニケーションが課題

今日は初めて本番のカフェをしました。先輩から教えてもらったことを思い出しながら作業をしました。...

6月
老人クラブさん
をお招きして



UBESO MARCHE

うべそマルシェ
有機野菜販売・
カフェ(テイクアウト)





生徒の感想

- 地域の方と一緒にたくさんの会話ができたり、普段かかわりのない小学部や中学部とふれあったりして、とても楽しかったです。
- 商品を並べるときにもっといい並べ方を提案したら、有機ネットの方に褒められてうれしかったです。
- 地域と連携する大切さを今回学びました。今日は楽しかったです。
- 飲み物を提供したときに、お客様に「ありがとう」と言っていたことがうれしかったです。
- いろいろな人と話ができて、良い経験になりました。みんな笑顔でした。良かったです。
- 初めて司会を任せるととても緊張しました。しかし、授業が終わった後やりがいを感じることができました。

ありがとうございました

